

「福井県気候変動教育プログラム」について

昨今の様々な異常気象やそれに伴う災害など、気候変動に起因すると考えられる現象が増大し、将来への不安が高まっている。

そこで、ドイツの気候変動教育プログラムを参考に、福井県独自の気候変動教育プログラムを開発・実践し、地域で温暖化防止や気候変動の適応に向けた活動を企画・実施できる人材を育成する。

1 事業内容

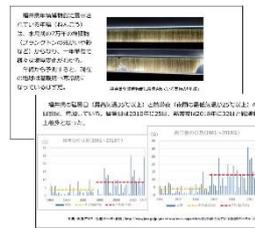
- ① 教材(ミステリーカード)の作成(元年度)
- ② 指導者向けマニュアル作成(2年度)
- ③ 指導者向け体験会の実施(3年度～)
- ④ モデル校での教育プログラムの実践(元年度～)

2 教育プログラムの構成

① **基礎編** 福井県版ミステリーワークショップ 【所要時間：標準100分】

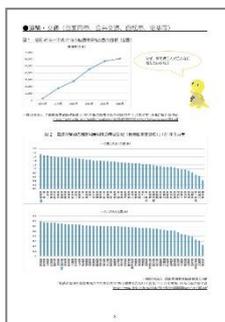
「福井県版ミステリーカード」(24枚1組)を、グループで議論しながら論理的に関連付けて並べる。

このグループワークを通じて、気候変動によりどんな現象が発生しているかを把握し、気候変動には様々な事柄が複雑に絡み合っていることを学ぶ。



福井県版ミステリーカードの例 ミステリーカードを関連付ける様子

② **応用編** 課題解決ワークショップ 【所要時間：標準100分】



↑グループでの話し合いの様子

←統計データ集の一部

気候変動のメカニズム等の基礎知識を学習後、グループに分かれ、福井県のエネルギー事情など3分野の統計データ集から現状を分析し、批評する。それを基に福井県の将来の理想像を考え、この理想像を実現するために必要な課題解決策をジグソー法により導き出す。

このグループワークにより、身近な地域の問題・課題を批判したり可能性を考える力、問題を統合的に考える力を養う。

3 実施状況 講師:水上 聡子氏 (アルマス・バイオコスモス研究所代表)

<令和元年度>

学校名	学年	人数	実施日
武生高校	2年	30 人	11 / 7
	2年	28 人	11 / 21
敦賀高校	1年	69 人	12 / 13
高志中学校	2年	30 人	11 / 27
	2年	27 人	11 / 27
	2年	29 人	11 / 27
	3年	89 人	11 / 28

<令和2年度>

学校名	学年	人数	実施日
敦賀高校	1年	60 人	11 / 13
	1年	36 人	3 / 22
武生第二 中学校	3年	30 人	2 / 15
	3年	29 人	2 / 15
	3年	28 人	2 / 17
	3年	28 人	2 / 19
	3年	30 人	2 / 19

<令和3年度>

(令和3年12月現在)

学校名	学年	人数	実施日
環境指導者向け体験会		8 人	8 / 6 プログラム内容 を实践
大野高校	1年	14 人	9 / 24
	1年	14 人	10 / 22
教員向け体験会		12 / 23 実施	プログラム内容 を实践